

すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会（第23回）会議録（概要）

- 1 開催日時 平成28年（2016年）4月6日（水） 15時24分～16時10分
- 2 開催場所 吹田市役所 特別会議室
- 3 出席者名簿 別紙「出席者一覧」のとおり
- 4 配付資料 資料1 持参率の現状について
資料2 吹田母子会まつり及び環境教育フェスタについて
資料3 平成27年度レジ袋削減・マイバッグ持参促進啓発について

5 議案

- (1) 持参率の現状について
- (2) 吹田母子会まつり及びすいた環境教育フェスタについて
- (3) 平成28年度マイバッグ等持参啓発について
- (4) その他

6 会議要旨

- (1) 持参率の現状について

【事務局】 ～資料1に基づき説明～

【会長】 今、事務局より説明があった。持参率が上がったと思ったら、下がった時もあった。今回は0.4%の上昇ということだが、何か意見はないか。特に意見がないようなので、次に進めたい。

- (2) 吹田母子会まつり及び環境教育フェスタについて

【市民団体A】 ～資料2に基づき報告～

【会長】 ただいま、吹田母子会まつりと環境教育フェスタについて報告があった。

何か意見はないか。市民団体の方にお聞きしたいが、一般的に風呂敷は自分で持っていて邪魔にならないのか。もし邪魔になるようならレジ袋の代用品として活用するのが難しいのではないか。

【市民団体A】 風呂敷はたたんだら小さくなるので、バッグに入れることができず邪魔になるということはないが、なかなか習慣づけることが難しい。もっと広く皆さんに啓発していくことが大事だと思う。

【会長】 今の話を聞いて、事業者さんから意見はないか。特にないようなので次に進みたい。後ほど意見を言ってもらっても結構である。

- (3) 平成27年度レジ袋削減・マイバッグ持参促進啓発について

【事務局】 ～資料3に基づき説明～

【会長】 事務局から報告があったが、この件について何か意見はないか。報告についての意見だけでなく、「こんなふうにしたらいいのではないか」という啓発の仕方について

ての提案でも構わない。

【事業者A】 キャンペーンでチラシやティッシュを配布するのはいいと思うが、弊社ではレジ袋有料化の際に必ず店舗で小さいマイバッグを配布する。市の予算の関係もあると思うので何とも言えないが、そのような方法でキャンペーンをすれば持参率が上がると思う。チラシはごみになってしまうがこの方法ならさらなる啓発となる。

【会長】 これは今までも事業者Aさんから、お話をいただいていた。キャンペーンでの訴え方が大事である。ただ持参してくださいというのではなく、携帯するというのを伝えていかななくてはならないと思う。他にはないか。

【事務局】 今回締結いただいた協定の中に新たに、店頭でのレジ袋削減・マイバッグの持参や携帯のPR活動ということで加えていただいているので、これからキャンペーンを開催していく中で携帯という文言を織り込みながらマイバッグを携帯してもらえよう働きかけを行なっていきたい。マイバッグを購入して配布ということに関しては、今年度予算がとれていないので厳しいところである。申し訳ないが今年度についてはティッシュに織り込みしたチラシの中に啓発の文言を入れて配布をするという形にならざるを得ない。

【会長】 今、事務局より実情を説明してもらった。事業者Aさんでは携帯できるマイバッグを作製しているのか。

【事業者A】 マイバッグを販売している。

【会長】 販売しているものをこの協議会でこういうものだということを見せてもらって、いいものであったら予算取りの話ができると思う。

【事業者A】 次回の協議会の際にお持ちする。

【会長】 そのマイバッグには事業者Aさんのロゴが入っているのか。

【事業者A】 ロゴは入っていない。

【会長】 啓発を進めていくために、みんなで共通認識を持ちたいと思う。また事務局と打ち合わせをしてほしい

【事業者A】 来月から、神戸の2店舗でレジ袋の配布を中止し、有料化する。

その時に配る為のマイバッグを1,000ほど本社に置いている。それを見本としてもっていただければいいのか。

【会長】 是非お願いしたい。他に意見はないか。

【学識経験者】 事業者Aさんが神戸の2店舗でレジ袋の配布を中止し有料化するということだが、そのときはやはり市民団体や行政が後押ししたという動きはあったか。

【事業者A】 神戸市で取り組ませていただいている。周りもほとんど有料化になっているので、神戸市とタイアップしてやらせてもらっている。行政のプッシュは非常に大きい。それがあったから有料化できたということもある。店舗は営業中心になりがちなので、無料配布を中止したらレジ袋を無料で配っているところに客をとられてし

まうのではないかというイメージがある。我々は地球環境のことについて考えているし、容り法やレジ袋の代金もある。エコロジーはエコノミーだよということを話しているが、営業とのせめぎ合いになっている。そこでプッシュしてくれるのは行政。行政から言われたら、営業も納得して協力してくれるので、随時進めている。我々の最終目的は有料化で吹田の店舗も有料化したい。もう少しプッシュしてほしいとずっと事務局には言い続けている。

【会長】 この件は、協議会が立ち上がった時から議論されてきた問題。こういう会議をしているだけではいけないと思う。前に進めるためにはどうすればいいかを色々決めていかなければならない。

【事業者A】 グループの事業者Bさんと一緒になって、北摂地域だけでも有料化を進めればいいということも話している最中である。行政からのプッシュを是非お願いしたい。

【学識経験者】 神戸での動きは、行政だけでなく市民運動などはあったか。

【事業者A】 あった。昨年からは神戸で取り組んでいて、弊社は西神戸に大きな店舗があるが、環境フェスタを年に5、6回開催している。そこへ毎回市民団体を招いてご協力いただいている。そして、地域の団体や行政と共に有料化を進めていった。

【会長】 そういった他市で取り組んでいる活動も含めて、吹田市に合う合わないもあると思うがいろんなものを参考にしながら進めないと持参率は上がらないと思うのでよろしくをお願いしたい。他にないか

【市民団体B】 マイバッグキャンペーンの時に何回かマイバッグを配布されたことがあると思うが、それを持って買い物に来ている人を見たことがない。そういう方たちはもらったマイバッグをどうされているのか。

【会長】 先ほどから何回も言われているように、もらうけども家に置いているのだと思うが携帯してもらわなければ意味がない。コンパクトなものでいつも持っておけるものになればいいのではないかと思う。他にないか。なければ次に進みたい。

(4) その他について

【会長】 何か意見はないか。

【事業者A】 北摂地域共通マイバッグキャンペーンについて、去年は事業者Cさんでされていたが今年度はどこで開催するのか決まっているのか。前回、キャンペーンの案内で弊社店舗にポスターを掲示してほしいとの要望があったが、「なぜお客様に事業者Cさんへ行ってくれという案内をしなければならないのか」と店舗から抵抗があった。今年度も北摂共通のキャンペーンを開催するのならば、商業施設以外の場所であれば、案内しやすいと思う。

【会長】 それはまったくそのとおりである。事業者で開催するとしたら、1年に1回というかたちでなく複数回行なうことができればいいと思う。そうすれば、全事業者を回る

ことができると思う。1点、事業者さんにお聞きしたいことがある。先日、吹田市廃棄物減量等推進員の総会が開催された。その際に、マーケットで売られている魚の切り身がトレイに入っていると思うが、切り身に対してトレイが大きすぎるのではないかという意見があった。これは容器を大きく見せて購買意欲を高めるためかと思うのだが、事業としてどのような働きかけができるのか。

【事業者A】 弊社は本社が大阪市にあるのだが、大阪市内で「消費者保護条例」というものがある。その中で、過大包装について「容器は内容量の15%以上あってはならない」と定められており、それに基づき商品の中身と包装は適正なかたちになっている。ただ、駅弁大会などで売り出されるものについてはよく見せるため容器が15%以上ある。そういう場合は、条例で定められているのでやめてほしいという働きかけを行なっている。京都でも、容器包装について適正な容器で提供することという条例が今年できた。そういうことも後押しになっている。

【会長】 吹田市は今のところそういう条例はないのか。

【事務局】 そういった条例はない。

【会長】 他の事業者さんはどうか。特にないようなのでこの件については聞いておきたかったので質問させてもらった。その他、何かあるか。少なくとも、レジ袋削減・マイバッグ推進については、時代の流れの中でだんだん変わって行った。事業者さんは、事業各社で考えられておると思う。色々教えて頂きたい。何もなければ終了とするが、行政からなにかないか。

【事務局】 確認させて頂きたいが、今年度の啓発事業については昨年度と同様のかたちで進めてさせてもらってもよいか。

【会長】 啓発は行っていかなければならない。今年度やらなければ、次からやらなくなってしまふ。啓発をおこなえばたとえ一人でも認識をもってもらえると思う。そのあたり、事業者さんはどうか。イベントを行なうことについて異議はないか。イベントについてこうすればいい等の意見があれば後日でもいいので意見をいただければと思う。

【事業者A】 弊社では、6月と11月がエコ月間となっており、6月はエコツアーということで商品を買ってもらい、レシートを貼って応募してもらおうと無料で環境取組みと工場見学ができる。かなりの応募数があるが、店に来てくれたお客さんということになってしまう。また資料を持ってくるので、もしできればイベント等でPRしてもらえればありがたいと思う。エコ月間に関しては持参率がかなり上がっているという実態もある。

【会長】 事業者から市民団体に協力してほしい等があれば、またこの場で言うのであればいい。今年度の啓発については前年度同様にさせてもらおうということではどうか。意義がないようなので承認させていただいたということをお願いしたい。事務局から何かないか。部長からはどうか。

【環境部長】 貴重な意見をいただきありがたいと思う。冒頭の市長挨拶に、吹田市にはレ

ジ袋がない文化を育てていくようにという話があったが、それにむけて努力していきたいと思う。持参と携帯に関しては、個人的に、買い物にいくつもりで外出すればマイバッグを持っていくが、会社帰りに買い物によることも多いので、持参より携帯ということが必要であると思う。また、神戸市さんなどが行政が後押ししているという話もあったのでそういったことも研究しながら行政内部でもいろいろ考えていきたいと思う。

【会長】他にないか。なければ、本日はこれで終了とする。